

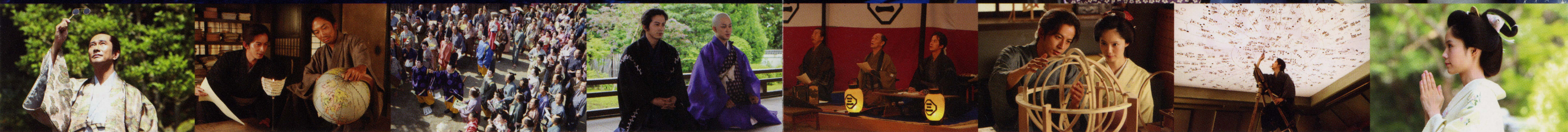
米国アカデミー賞外国語映画賞に輝いた 『おくりびと』の滝田洋二郎監督が、 本屋大賞第1位のベストセラー小説を映画化！

時代をひっくり返す大計画、それは日本初の暦を作ること!?

星を追いつけた男・安井算哲の挑戦を描く、

勇気に満ちた感動の物語

天地
「てんちめいさつ」
明察



米国アカデミー賞受賞監督が
次に選んだテーマは
“江戸×天文”！

第81回米国アカデミー賞外国語映画賞に輝いた『おくりびと』。国内外から熱い注目を集める滝田洋二郎監督が、受賞後初となる作品で選んだ斬新なテーマ、それは「江戸×天文」。原作は、2010年本屋大賞第1位に輝いた、沖方丁のベストセラー小説『天地明察』。多くの人々が、地球が丸いことさえ知らなかった江戸時代に、日本初の暦作りに挑戦した、実在の人物・安井算哲（後の渋川春海）の物語だ。

江戸時代、日本初の
暦を作った男の物語。

江戸時代前期、日本では暦に大きなずれが生じはじめていた。800年前に出来た中国の暦を使っている影響だった。この時代、暦は、生活の基盤であると同時に、宗教、政治、経済にまで影響を及ぼし、暦を司る者が国を治めるほどの意味を持つ重要な存在。そんな暦の間違いを正し、新たな暦を作るという一大計画のリーダーに大抜擢をされたのが、安井算哲。碁打ちとして徳川家に仕えながらも、幼い頃から星の観測や算術に熱中する若者だった。暦を作るには、天文や算術の知識だけでなく、何年もかけて観測をし、天体の動きを解明するという途方もない労力が必要とされる。誠実な人柄とひたむきな情熱で、決してあきらめずに挑んでいた算哲だったが、その先に待ち受けていたのは、挫折と失敗だらけの困難な日々だった――。

日本映画界屈指の超豪華
キャスト&スタッフが集結！

算哲を演じるのは、端正な存在感で全世代からの圧倒的な人気を誇る岡田准一。妻えんには、今や日本を代表する若手演技派女優となった宮崎あおい。共演には、佐藤隆太、市川猿之助、市川染五郎、横山裕、中井貴、松本幸四郎ら日本映画界屈指の超豪華キャストが集まった。更に、真田広之がナレーションを、『おくりびと』に続いて久石譲が音楽を担当するのも、大きな話題である。

天文ゴールドデニヤーに、
勇気と希望を届ける
感動のエンタテインメント！

奇しくも2012年は、「天文ゴールドデニヤー」。太陽に月がすっぽりと収まり、指輪のように見える「金環日食」、次に起こるのは105年も先という金星が太陽の前を通過する「太陽面通過」、金星が月に隠される「金星食」、これら大変珍しい三大天文現象が見られる年。400年前、暦作りを通して、天と地の真理を追い求め、日食が起こる日も言い当てた男・安井算哲。今こんな不安な時代だからこそ、毎日星と太陽を仰ぎ、あきらめずに夢を見続けた彼のように、いまいちど大空を見上げたい――。2012年秋、日本中に勇気と希望を届ける感動のエンタテインメントが誕生する！